

社会福学科 社会福祉専攻 2年 後期 総合科目

1. スポーツ理論
2. 情報処理Ⅱ

社会福祉学科			社会福祉 専攻		
科目名: スポーツ理論			担当教員 氏名: 本田 由美子		
単 位	開講時期(年次・期)	科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
2	2年次 後期	総合科目	講義	選択	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:					
授業科目の学習教育目標の概要:				キーワード	
スポーツと運動文化について、その歴史的变化の過程を踏まえて総合的に理解を深めるとともに、生涯にわたって豊かなスポーツライフを設計し実践してゆく方法を学ぶ。特にスポーツが健康に及ぼす効果を理解する。				・スポーツ ・運動 ・健康	
授業における学修の到達目標					
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)		自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		1. 2. 5. 6. 8	
A 知識・理解力		スポーツ文化を歴史的に幅広く理解する。			
C 論理的思考力		運動が健康に及ぼす影響について具体的に理解し実践できる能力を養う。			
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする					
テスト: 30 %	レポート: 30 %	発表: 20 %	実技試験: %	その他: 20 %	
特記事項: アクティブラーニングの一環として、新聞等のスポーツ記事をファイルし、発表とディスカッションを行なう。その他には、授業中の態度と提出物の内容・提出状況等で評価する。					
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 <u>ディスカッション、ディベート</u> グループワーク <u>プレゼンテーション</u> 実習、フィールドワーク					
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 第7回目と第15回目にレポートを提出する。筆記テストは別に定めた日時に実施する。					
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: スポーツ記事ファイルにコメントを加え返却する。テストは採点し返却する。					
授 業 計 画			準備学習(予習・復習等)		
			学習内容	学習に必要な時間(分)	
①オリエンテーション・スポーツ体験発表			【復習】スポーツの実施		
②スポーツと健康			【予習】スポーツに関する記事をファイルする	【予習】120分	
			【復習】②の復習	【復習】120分	
③スポーツと体力づくり			【予習】スポーツに関する記事をファイルする	【予習】120分	
			【復習】③の復習	【復習】120分	
④スポーツの生理学①			【予習】スポーツに関する記事をファイルする	【予習】120分	
			【復習】④の復習	【復習】120分	
⑤スポーツの生理学②			【予習】スポーツに関する記事をファイルする	【予習】120分	
			【復習】⑤の復習	【復習】120分	
⑥基礎的トレーニング法①			【予習】スポーツに関する記事をファイルする	【予習】120分	
			【復習】⑥の復習	【復習】120分	
⑦基礎的トレーニング法②			【予習】スポーツに関する記事をファイルする	【予習】120分	
			【復習】⑦の復習	【復習】120分	
⑧トレーニングプログラムの作成			【予習】スポーツに関する記事をファイルする	【予習】120分	
			【復習】⑧の復習	【復習】120分	
⑨スポーツ事故と安全管理			【予習】スポーツに関する記事をファイルする	【予習】120分	
			【復習】⑨の復習	【復習】120分	
⑩運動障害と救急法			【予習】スポーツに関する記事をファイルする	【予習】120分	
			【復習】⑩の復習	【復習】120分	
⑪高齢者の健康と運動			【予習】スポーツに関する記事をファイルする	【予習】120分	
			【復習】⑪の復習	【復習】120分	
⑫運動文化の歴史 ①スポーツの変遷と国際理解			【予習】スポーツに関する記事をファイルする	【予習】120分	
			【復習】⑫の復習	【復習】120分	
⑬運動文化の歴史 ②スポーツの社会的役割			【予習】スポーツに関する記事をファイルする	【予習】120分	
			【復習】⑬の復習	【復習】120分	
⑭生涯スポーツに向けて			【予習】スポーツに関する記事をファイルする	【予習】120分	
			【復習】⑭の復習	【復習】120分	
⑮まとめ			【予習】①から⑭までの復習		【予習】240分
使用テキスト: 毎時間プリント配布			その他参考文献など: 「スポーツトレーニングの基礎理論」西東社 「目でみる筋力トレーニングの解剖学」大修館書店		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 日頃から、自分自身のからだを取り巻く状況から、スポーツに関するニュースまで注意して、それらが意味することを考えるように心がけてください。					

社会福祉学科

社会福祉 専攻

2年

科目名: 情報処理Ⅱ			担当教員 氏名: 松本 三千人			
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
1	2年次	後期	総合科目	演習	選択	
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:						
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード	
今後のデジタル化社会において、数理・データサイエンス・AIを日常生活、仕事の場で使いこなすことが出来る基礎的素養を身に着けること。					統計基礎、データサイエンス、AI、データの比較、データの集計、個人情報保護、情報漏洩	
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		1. 2. 8.	
A 知識・理解力			<ul style="list-style-type: none"> データを読み解く力、説明する力、データを扱うための力を養う。 情報作成能力を身に付け、活用能力を高める。 データ・AIを活用する際の留意事項に関する知識習得。 			
D 問題解決力						
C 論理的思考力						
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト: 50 %		レポート: %		発表: %		実技試験: %
その他: 50 %						
特記事項: ・上記、「その他」では授業の態度、授業中の課題演習の提出状況などで評価する。 ・授業外の予習・復習が不可欠であり、反転授業(アクティブ・ラーニング)として、学生が主体的に関わる意識を持つことを重視する。						
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート グループワーク プレゼンテーション 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 授業中後半に授業内容の確認チェックを実施する。また、授業期間の中間と最後に授業の振り返りを行い、授業理解の確認を行う。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 授業期間の中間と最後の振り返り時の理解度については、個別に伝える。						
授 業 計 画				準備学習(予習・復習等)		
				学習内容	学習に必要な時間(分)	
① ガイダンス:数理・データサイエンス・AIを学ぶ事の意義				AI活用したビジネス/サービス	【予習】30分 【復習】30分	
② 社会で活用されているデータ				データ収集・活用の状況	【予習】30分 【復習】30分	
③ データ・AIの領域				データが活用される領域	【予習】30分 【復習】30分	
④ データ・AI利活用のための技術				データ・AI活用のための技術用	【予習】30分 【復習】30分	
⑤ データ・AI利活用の現場				データ活用による価値の創造	【予習】30分 【復習】30分	
⑥ データ・AI利活用最新動向				ビジネスモデル、テクノロジーを知る	【予習】30分 【復習】30分	
⑦ データを読み解く(統計基礎を学ぶ)				統計基礎の知識・スキル	【予習】30分 【復習】30分	
⑧ データ処理のための関数活用				Excel関数の活用	【予習】30分 【復習】30分	
⑨ 中間振り返り				Excel活用したデータの処理	【予習】30分 【復習】30分	
⑩ データの可視化				Excelを活用したデータの処理	【予習】30分 【復習】30分	
⑪ データ間の関係				相関関係について	【予習】30分 【復習】30分	
⑫ データの集計(1)				アンケートデータの単純集計	【予習】30分 【復習】30分	
⑬ データの集計(2)				アンケートデータのクロス集計	【予習】30分 【復習】30分	
⑭ データ・AIを扱う上での留意事項				情報保護、セキュリティ等	【予習】30分 【復習】30分	
⑮ 振り返り				Excel機能を活用したデータ処理	【予習】30分 【復習】30分	
使用テキスト: 適宜、資料を配布する。				その他参考文献など:		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 授業での演習時間が少ないので必ず予習・復習を行うこと。						